

PressRelease

2008 年 3 月 21 日

報道関係各位

エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社
エンテラシス・ネットワークス株式会社

NTT データ先端技術、エンテラシス・ネットワークス、「NOSiDE^(R) Inventory Sub System」とエンテラシス認証スイッチの連携による『検疫 LAN ソリューション』を共同開発

エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長 山田 伸一、以下 NTT データ先端技術)とエンテラシス・ネットワークス株式会社(本社:東京都目黒区、アジアパシフィック社長 エドワード セメルジバシアン、以下エンテラシス)は、統合型 LAN 検疫ソリューション「NOSiDE^(R) Inventory Sub System」とエンテラシス社の認証スイッチの連携による「検疫 LAN ソリューション」を共同開発しました。同機能に対応した NOSiDE^(R) Inventory Sub System は 3 月 24 日(月)より販売を開始します。

システムの特長

今回両社の協力により開発した「検疫 LAN ソリューション」は、企業や教育機関などにおけるネットワークセキュリティの維持・向上に寄与する「検疫ネットワーク」を構築可能とするソリューションであり、クライアントコンピュータの社内ネットワーク接続時に、当該コンピュータが、社内で規定したセキュリティポリシーを遵守しているかどうかを検査し、ポリシーに合致していない場合には、コンピュータの接続をシャットアウトする機能を提供します。

同機能の開発に当たり、NTT データ先端技術は同社の「NOSiDE^(R) Inventory Sub System」にエンテラシス社の認証スイッチとの連携機能を搭載しました。また、エンテラシス社では、同社の認証スイッチ製品である「Matrix N シリーズ」のネットワーク認証機能である「ダイナミック・ポリシー」機能を用いて、NOSiDE^(R) Inventory Sub System での検査に合格したクライアントコンピュータに対し、認証スイッチの単一ポート上でユーザ単位・コンピュータ単位で定義した ACL(アクセス・コントロール・リスト)を割り当てることを可能とします。これにより、既存ネットワークに与える影響を最小限にとどめつつ、きめ細かなアクセス制御が可能となります。

また、従来より「NOSiDE^(R) Inventory Sub System」が搭載する機能である「エージェントレス検疫」の機能は、連携製品でもそのまま利用することが可能となっているため、利用者は、検査対象となるクライアント・コンピュータに予め検疫エージェントを搭載することなく、検疫ネットワークを構築することが可能となります。

今回販売を開始する新機能により、既存のコンピュータ・ネットワークに関するインフラを有効活用した形での検疫ネットワークの導入が可能となります。

価格

NOSiDE ^(R) Inventory Sub System:	195 万円より(100 クライアント時、税別)
Matrix N シリーズスイッチ:	234 万円より(最小構成時、税別)

提供方法

NOSiDE^(R) Inventory Sub System は、NOSiDE 正規販売代理店を通じて提供されます。
Matrix N シリーズ認証スイッチは、エンテラシス製品の販売代理店を通じて提供されます。

本件に関するお問合せ先

NTTデータ先端技術株式会社
EA 事業部 NOSiDE ビジネスユニット
e-mail: noside-info@intellilink.co.jp
URL: <http://www.intellilink.co.jp/>

エンテラシス・ネットワークス株式会社
マーケティング本部
e-mail: entera-info@enterasys.co.jp
URL: <http://www.enterasys.com/jp/>

※1: NOSiDE は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データの登録商標です。

※2: その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。